SDG‘ｓを重視した経済・産業振興　ヨコハマ！

以前は想像もしなかった豪雨や大型台風など、気候変動（気温上昇）の影響で社会を取り巻く環境は変化しています。また海洋を含む環境保全のため、循環社会といった消費の在り方なども考えなければなりません。次の世代に美しいまちを残すためにも、再生可能エネルギーやプラゴミ削減、地産地消の推進、食ロス、フードバンク、フードドライブなど、みんなでCO2削減（脱炭素）や様々な観点での環境保護に取り組みましょう。

そのためにやるべきこと

- 脱炭素、温室効果ガス削減の推進
- 脱炭素化と一体となったまちづくりの推進（プラ対策、食ロス等）
- サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現
- 環境性能の高い住宅・建築物の普及促進
- 自転車通行空間の整備
- SDG‘ｓ達成に貢献する企業の誘致・育成

市民参加、住民参加が確立したまち　ヨコハマ！

民主主義社会の主（あるじ）は政治家ではなく市民です。市民による市民のための市政が未来に続くために、世界の事例を学びながら、たゆまなく地方自治制度を進化させる必要があります。
世界は多様であり、常に変化します。今を生きる私たちや、未来ある若い世代がより豊かで幸せな暮らしを享受できるよう、民主主義を進化させます。

そのためにやるべきこと

- 行政区における民主的機能の拡充
- 常設型住民投票制度の創設
- 住民自治を進める大都市制度の確立
- 市民参加・住民自治にデジタルの活用

かじおあきらの市政相談受付中！

市政に関することや地域のお困りごとなど港南台事務所やお電話もしくはオンライン等でご希望に応じてお話を伺います。遠慮なくお問い合わせください。

お電話
045-353-5723
もしくはメール
mail@kajio.infoへ
お申込みください。

● 梶尾明　略歴 ●

令和5年度は以下の委員会に所属しています。
○ 健康福祉・医療委員会
○ 基地対策特別委員会
○ 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員

学歴
大阪芸術大学芸術学部写真学科　卒業

職歴
写真家・フォトスクール講師
衆議院議員（公設第一秘書）
参議院秘書（公設第一秘書）

現在
市会議員
2019.4 横浜市会議員（港南区選出・1期）

公式サイト
はこちら↓

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan
横浜市会議員団

【編集部】横浜市会議員梶尾明
港南区政務活動事務所
〒234-0054
港南区港南台3-16-1渡辺ビル
電話 ： 045-353-5723
FAX ： 045-353-5724

議会だより

港南区版　春 号　　発行：2023年2月23日

編集者
横浜市会議員 かじお あきら

■1969年3月9日生まれ■大阪芸術大学写真学科卒■フォトグラファー
■元国会議員公設第一秘書■2019年4月 横浜市会議員に初当選

もっと良い未来へ

―幸せを実感できるヨコハマを目指して―

開港から今年で164年。わずか100戸の漁村から、377万人の大都市に進化した横浜市も、いよいよ人口減少の時代に突入しました。社会構造が大きく変わろうとしている今、大事なことは発想の転換です。長きに渡るコロナ感染症の影響もあり日常の暮らしのあり方が大きく変わり、豊かさに対する価値観も変わってきています。だからこそ医療、介護、福祉、子育て、教育、雇用、地域等における様々な課題解決のために時代に合わせたサービスを提供できる柔軟な行政運営が必要です。私たち立憲民主党横浜市会議員団はもっと良い未来を描くために、市民の皆様の切実な声を市政に届け、幸せを実感できるヨコハマを目指し山積する課題に全力で取り組んでまいります。

立憲民主党横浜市会議員団の主な成果

IRカジノ誘致の中止

ギャンブル依存対策は万全にとのことだが、依存症にならずとも、この横浜の地においてカジノで負けて悲しむ人、悲しむ家族が増えることは避けられない。この横浜が悲しみ溢れるまちにならないよう切に願う。

（令和元年第３回定例会　梶尾明議員の一般質疑より）

その後、立憲民主党が山中竹春市長を擁立当選したことにより誘致は中止に

中学校給食全員喫食の実施（令和８年度予定）

超高齢社会を迎えている今日では、親の介護をしながら、働きながら、そして子育てをしながら、疲れを癒す間もない日常に追われる日々を過ごしている方が大勢いる。暮らしの負担、不安を軽減するためにも、早期に学校給食法に基づいた中学校給食実施を検討すべき。

（令和元年第３回定例会　梶尾明議員一般質疑より）

その後、中学校給食（選択制）が実施され、令和８年度には生徒全員喫食の給食へ

新たな劇場計画の検討（試算額615億円）の中止

本市では、将来の財政不安が懸念されていることも現実で、多額の予算を要するオペラ、バレエを主体とする劇場への考え方については慎重にならざるを得ない。

（令和２年度予算第二特別委員会　梶尾明議員政策局質疑より）

その後、立憲民主党が山中竹春市長を擁立当選したことにより検討は中止に

待機・保留児童対策

定員割れの施設数や人数も増えており、既存施設の活用を進めていくことは大切なことだが、それだけでは保育ニーズが増加している地域への対応として限界があるのではないか。保育ニーズが増加している地域へは保育所等の整備を含めて受入れ枠を確保していくべき。

（令和４年第２回定例会　梶尾明議員一般質疑）

地域の開発状況や申請者数の増加、待機、保留児童の状況などを総合的に勘案して、令和５年４月の入所に向けて港南区や港北区などで認可保育所や小規模保育事業の整備を行っていく（山中竹春市長答弁）

立憲民主党横浜市会議員団　今後の主な取り組み

子育てしたいまち　次世代を育むまち ヨコハマ！

子どもと過ごす時間がたくさんあって、子どもを安全に遊ばせる場所が近くにあって、泣いている子どもがいたら地域の皆で支えるそんなまちに。子どもにハンデがあっても、個性的でもまちの人々が理解して誰もが笑顔で過ごせるように。親が笑顔じゃないと子どもは笑顔になりません。

そのためにやるべきこと

- 出産、不妊・不育治療への支援の強化
- 待機児童・保留児童の解消
- 保育士の待遇改善
- 病児保育の充実
- 第2子以降の保育料の負担軽減

長生きして良かったと言えるまち ヨコハマ！

横浜市の高齢化率は約25％と、４人に１人が高齢者です。横浜市の発展を支えて下さった皆様が、安心して歳を重ねて、健康に長生きできることを支えていきます。医療・介護の充実はもちろん、生活の足を支え、就労を支え、「自分らしさ」を失わないまちにしていきます。

そのためにやるべきこと

- 介護職員の待遇改善・キャリア形成支援
- 在宅医療・介護の充実
- 予防医療の強化（認知症対策・生活習慣病対策・がん検診の推奨）
- 元気あふれるシニアの就労機会の創出
- 実証実験を踏まえた地域交通の強化
- データやデザインを活用した健康長寿対策の充実

誰もが活き活きとくらせるまち ヨコハマ！（ユニバーサル社会）

障がいは当事者ではなく社会にあります。働きたい人は働けて、学びたいときは学べて、仲間と語り合う場があって、お金持ちでも貧乏でも、女性でも男性でも、ハンデがあってもなくても、子どもでもお年寄りでも笑顔で暮らせるまちにしましょう。地域のみんなの心の壁のないユニバーサルなまちづくりを目指します。

そのためにやるべきこと

- ジェンダー平等の実現
- ひきこもり等若者自立支援の強化
- 発達障がい児・者への支援の充実
- 医療的ケア児・者、重症心身障がい児・者への支援の充実
- 地域包括ケアの推進
- 介護、保育、障がい者支援など福祉人材の確保
- インクルーシブ教育の推進